Hayama Marina Yacht Club

ＨＭＹＣ ヨットレース

本部艇運営要領書

(V2.1)

２０２１年１２月３１日　一部改訂
２０２１年　３月３１日　一部改訂
２０１９年　４月２４日　一部改訂
２０１６年１２月２９日　一部改訂
２０１４年１２月１０日　一部改訂
２０１３年１１月２２日　一部改訂
２０１１年１２月１７日　一部改訂
２０１１年　２月１９日　一部改訂
２００９年１２月１３日　一部改訂
２００５年１１月２６日　一部改訂
２００２年１１月２４日　一部改訂
２００１年１２月０２日　一部改訂
２００１年　１月２１日　一部改訂
１９９８年　１月０４日　一部改訂
１９９７年　６月０１日　一部改訂
１９９６年　１月０１日　一部改訂
１９９４年　３月０１日　一部改訂
１９９３年　４月０１日　一部改訂
１９９１年　４月１４日　作成

葉山マリーナヨットクラブ　レース委員会
Hayama Marina Yacht Club Race Committee

※新型コロナウイルス感染防止対策のためクラブ艇、外来艇ともにオンラインエントリー等の対策を実施する。感染防止対策が実施された場合はこの運営要領書において「★」印を付した項目の作業は行わない。

１．本部艇業務内容

１）レース進行の運営
２）エントリー受付
３）エントリーフィー集金★
４）マーク打ち助成（必要な場合）
５）スタート、フィニッシュ　コントロール
６）成績記録および計算の助勢
７）備品チェック、整理および収納（チェックリストの提出）
８）レースレポートの作成及び提出

以上のすべての業務を本部艇が行うものとし、原則としてレース委員会のメンバーが手伝うことはない。ただし、マーク打ちは原則として葉山マリーナとレース委員会が行う。

２．各業務の詳細

２-１　エントリー受付

１）成績記録用紙はエントリー受付用紙を兼ねる。事前に複数枚のコピーを用意しておく。
２）艇種、セイルプランの変更、改造などがないか確認する。
３）配布資料がある場合は必ず手渡す。
４）レーティング不明時はレース委員会に連絡する。
５）モデラートクラスが併設されたレースでは、どちらでエントリーするかを確認する。
６）外来艇の参加有無を確認のこと。

＊エントリー受付時間はAM８時５０分から９時００分まで。★
＊エントリーフィーは5,000円、ただし非会員艇がパーティーに参加する場合は別途2,000円を徴収し、まとめて会計に手渡す。★
＊コンピューターへのエントリー艇入力はレース委員会が行うので助勢する。
＊　配付資料があるときには、当日レース委員会が持ち込む。

注）ニューイヤーズレガッタ、熱海レースはスタート時刻がその他のレースとは異なるので、エントリー受付・出港時間等は別途レース委員会の指示に従う。

２-２　備品積み込み

下記の備品がレース運営に必要ですので本部艇に積み込みます。少なくとも１週間前にチェックリスト（添付－３）で確認し、不足している備品があればレース委員会に相談のこと。不明な点はレース委員会に相談のこと。

１）本部艇用備品ケース（クーラーボックス　大×１）
①ハンドベアリングコンパス
②フォグホーン及び予備ボンベ。なお電動フォーンがウィンドフェアリー号榎本氏の好

意で貸与され利用可能である。当日榎本氏に確認のこと。

③ＨＭＹＣフラッグセット（白セイル生地ロール状バッグ）

④バインダー＋メモ用紙

⑤筆記用具

⑥双眼鏡

⑦風速計

⑧拡声器(トラメガ)

2）フラッグ掲揚具一式（フラッグをセットしたアルミパイプが必要本数ダクロンのフラッグポール収納バッグに納められている）

3）アンカーロープ（１００Ｍ）及びアンカー（１５kg）

4）国際VHF（ハンディ-タイプが望ましい）

＊　上記１）の本部艇用備品ケースはＨＭＹＣロッカー内。2)フラッグ掲揚具はロッカー左横、屋根下に。３）アンカー類はＨＭＹＣロッカー横にそれぞれ常置してある。

＊　アンカーとアンカーロープは本部船担当艇保有のものを使用しても可。ＨＭＹＣ備品のアンカーロープを使用したときは、水洗後きれいに巻いて保管場所に返却すること。

＊　フラッグポール収納バッグ内にはフラッグが取り付けられていない予備のポールも納めている。必要に応じて③のフラッグセット内のフラッグをセットして使用願います。

２−３出港

1）本部艇に備品と要員を乗せてレース委員長の指示で速やかに出港すること。

２−４マーク打ち・撤収

マーク打ちおよび撤収は原則として葉山マリーナとレース委員会が「皇海(すかい)」を使って行うが、場合によっては、助勢要員をお願いすることもある。

［皇海(すかい) マリーナ所有ＲＩＢ］

２−５運営手順

1）ＨＭＹＣのフラッグを掲げる（図１参照）。

2）フラッグポール収納バッグからフラッグポールを取り出し、必要なフラッグの有無を確認する。

3）左側スターンにインナーリミットマークブイを取り付ける。シートの長さは３ｍとする。

＊このマークブイは本部艇にレース艇が衝突することを防ぐ目的で、このマークブイに触れた艇は本部艇接触と同じ扱いにする。

4）スタートラインのスターボード側の端を示すオレンジ旗と、フィニッシュラインの端を示すブルー旗は一本のポールの両端にセットされています。本部船のマストにベルクロでセットし、スタート、フィニッシュの際には必要なフラッグが表示されるようセットしてください。

５）予告信号(ピンク旗)、準備信号(P旗、I旗、U旗等)掲揚担当者は、いつでも素早く掲揚できるようにスタンバイする。
６）個別リコール又はゼネリコに反応できるように担当者は、X旗と第一代表旗を取り付けたポールをいつでもフォアデッキ上にて表示出来るようスタンバイする。
７）レース委員長の指示で数字フラッグ４または６をジブハリヤードで掲揚する。
　数字フラッグはＬ旗掲揚前または同時に掲揚する。
　数字フラッグは第一レースまたは第二レースが終了するまで掲揚する。
８）エントリーリスト以外の艇でレースに出そうな気配の艇がないか確認する。
９）上記１）～７）の作業を行っている間に、レース委員会と連絡をとり、本部艇アンカーリングの位置を決定する。
10) 不明な点、困ったことが起きた場合、判断がつかないときにはレース委員長、又はレース副委員長に連絡して指示を仰ぐ。連絡がどうしてもつかない場合は本部艇の判断でコース短縮又はレース中止等の決定をする。
11) 本部艇上で次の担当者を決めておく。
・レース旗、Ｐ旗掲揚および降下担当
・リコール、ゼネリコ旗掲揚担当
・リコール、ゼネリコ確認担当
・フォグホーン担当、時計担当
・リコール艇名、フィニッシュ等記録担当
本部艇は出港後速やかにＬ旗を掲揚してレース海面に向かう。
13) レース委員の指示によりスタートラインを設定する。
14) チェックインする艇を確認し、エントリーリストと照合し記録する。(チェックイン締切りは予告信号の5分前まで)
15) 予告信号掲揚の5分前より前にオレンジ旗を表示させる。
16) スタート６分前に音響一声とともにＬ旗を降下する。
17) スタート５分前に音響一声とともに予告信号旗（ピンク旗）を掲揚する。
18) スタート４分前に音響一声とともに準備信号旗（Ｐ旗）を掲揚する。
19) スタート１分前に音響一声とともに準備信号旗（Ｐ旗）を降下する。
20) スタート時刻に音響一声とともに予告信号旗（ピンク旗）を降下する。
21) リコール艇を確認した場合
（１） インディビジュアルリコール（艇を特定できた場合）即、**音響一声**とともにＸ旗を掲揚する。なおＸ旗を掲揚する場所はマストより前とし（若しくは艇前部）競技艇から見やすいように心がける。
（２） 国際ＶＨＦを所持している場合、リコール艇のコールを、国際ＶＨＦにて行う。
（３） 全てのリコール艇がスタートライン内に完全に戻った事を確認すると同時にＸ旗を降下する。
（４） １艇でもリコールを解消しない場合はX旗を揚げ続ける。その後スタート４分後にX旗は降下する。（音響信号は不要）
20) ゼネラルリコールとＩ 旗規則(RRS30.1)
（１） スタート時に全てのリコール艇を特定出来なかった場合は**音響２声**とともに第一代表旗を掲揚する。なお第一代表旗を掲揚する場所はマストより前とし

（若しくは艇前部）競技艇から見やすいように心がける。

（２） スタート時刻４分後に音響一声とともに第一代表旗を降下する。

（３） その１分後（リスタートの５分前）に音響一声とともに予告信号旗（ピンク旗）を掲揚する。

（４） リスタートの４分前に音響一声とともに準備信号旗（Ｉ旗又はU旗）を掲揚する。

（５） リスタートの１分前に長音一声とともに準備信号旗（Ｉ旗又はU旗）を降下する。

（６） １分間ルール（I旗規則[規則30.1]

1> リスタート１分前の（Ｉ旗）降下後からスタートまでの１分間に、艇の一部であってもスタートライン又はスタートラインの延長線上のコースサイド側にいた艇を特定する(図参照)。

2> 特定された艇が本部艇又はリミットマークいずれかの外側を回ってスタートライン内に復帰したことを確認する。（ラウンドアンエンドルール＝スタート前でもＯＫ）

3> スタート時刻に音響一声とともに予告信号旗（ピンク旗）を降下する。
リスタート時迄にラウンドアンエンドルールを履行しなかった艇を特定した場合はＸ旗を掲揚し、音響一声を発する。

4> 全てのリコール艇がラウンドアンエンドルールを解消した場合Ｘ旗を降下する。（音響信号なし）
１艇でも解消しなかった場合はＸ旗を揚げ続ける。その後スタート４分後にリコール解消の有無に関わらずＸ旗を降下する。

（７） １分間ルール（U旗規則[規則30.3]
リスタート１分前の（U旗旗）降下後からスタートまでの１分間に、艇の一部であってもスタートラインと第一マークで作る三角形内にいた艇を特定するその艇は審問なしに失格とされるので、音響信号、フラッグの掲揚は不要。

21) スタート１０分後にスタートラインはクローズし、スタートラインを横切ってない艇はＤＮＳとする。

22) コース短縮の場合、コース短縮を決定した時点でＳ旗を揚げて音響二声を発し、フィニッシュの手順をとる。

23) スタート予告信号は10時25分とする。（個別にスタート時刻を定めたレースを除く）

24) スタート延期の場合は音響二声と同時にAP旗を掲げる。スタート手順やリコールまたはゼネラルリコールの手順を間違えた場合も同様にスタート延期としAP旗を掲げる。次の予告信号はAP旗降下（音響一声）の１分後に発する。

25) スタートしてからフィニッシュ迄の本部艇の行動は自由であるが、常にコース短縮の可能性を考えていつでも対応出来る様にしておく。またレーススタート後、風速が18m/secを越えた場合レースは中止にする。その場合レース委員長又はレース副委員長と相談し、決定したなら直ちにＮＡ旗を揚げ、音響三声を発し、各艇に連絡して速やかに帰港する。

26) フィニッシュ時は音響一声を発して各艇のフィニッシュ時刻を記録するが、リコール

を解消していない艇、又はI旗、U旗に違反した艇には音響信号をならさない。ただし時刻は別枠に記録しておく。また特に風の強い日は記録紙を風で飛ばされないように細心の注意をくばる事。

27) タイムリミット時には長音二声を発する。続けて２レース目を予定している場合は音響一声とともにＬ旗を掲揚する。

28) レースの記録

a)記録用紙には以下を記録してください。記入欄が無い場合は余白に記入。

・スタート時刻
・距離、風軸、風速
・OCS、DNS、RET等の略語
・フィニッシュ時刻
・タイムリミットの時刻

ｂ)フィニッシュ時刻を記録するには、白紙に都度記入する方法を勧めます。エントリー用紙等の艇名リストへの記入は、フィニッシュが錯綜した際に艇を探しだすために記入が遅れ、誤りの元になります。

ｃ)リミットマーク寄りにフィニッシュする艇の判別は困難な場合があります。双眼鏡、艇の特徴(セールカラー等)などから艇の特定に注力して下さい。動画、写真、ボイスレコーダーは有用なツールになりますので出来る限り使用してください。

ｄ)可能であれば記録を写真に収め、画像をレース委員会あてに送信してください。

ｅ)帰着後レースの記録を速やかにレース委員会に手渡し、コンピューターで計算を依頼する。

29) レース結果はパーティーで発表するまでは他言しないこと。

30) 備品の破損、紛失がないかチェックリスト（添付-３）で確認後元の場所に戻し、チェックリストの提出と共に、レース委員会に連絡する事。

＊レース終了後、抗議が出た時には、直ちにレース委員会のメンバーを召集する。
又、フィニッシュ時及びレース中、抗議の旗が揚がってないか常に注意のこと。

３．モデラートクラス（Ｍクラス）併設の際の注意点

モデラートクラス(M]クラス)が併設される上下レースでは、Mクラスは第１レースのみ、且つタイムリミット無しで行われる。

そのためMクラスのフィニッシュを待たずに通常クラスの第２レースをスタートさせる場合がある。

その際はフィニッシュにアプローチするMクラスと、通常クラスが交錯することも予想されるので、フィニッシュ（スリット）担当はMクラス参加艇の動向に十分注意すること。

４．　レースレポートの作成及び提出

当日の天候、風向、風力、レースの状況等を記載したレースのレポートを作成し、レース実施後1週間以内に、レース委員会へ提出すること。

レポートのフォーマットは、HPよりダウンロード出来る。

提出先メールアドレス　：　rc@hmyc.or.jp

HMYCレース 本部艇備品チェックリスト

1.　本部艇用備品ケース内容物（クーラーボックス）	使用前	使用後
1)　ハンドベアリングコンパス		
2)　フォグホーン＆予備ボンベ		
3)　フラッグセット（青色布製バッグ）内容は別項		
4)　バインダー＆メモ用紙		
5)　筆記用具		
2.　インナーリミットマークブイ、アンカー、ロープ		
3.　フラッグポール収納バッグ（内容物も確認）		
4.　本部艇用アンカー（15kg）		
5.　アンカーロープ(100m)　水洗後所定の場所に収納の事		

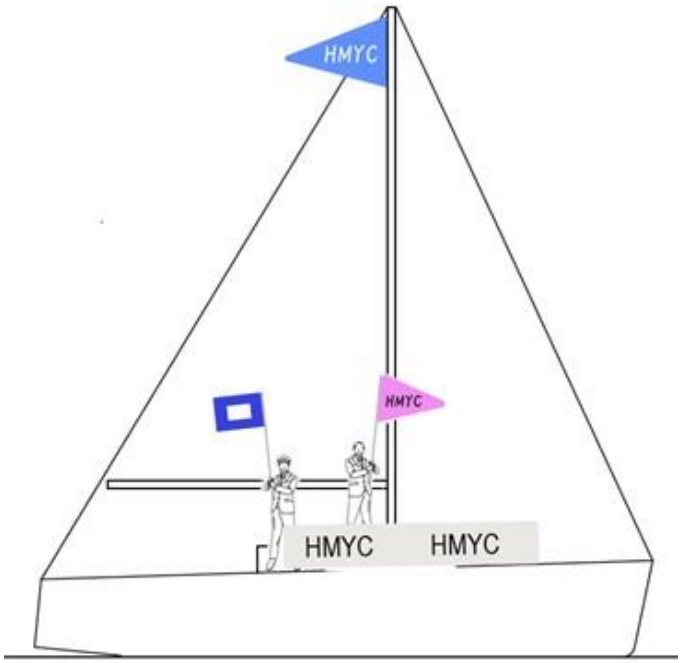
フラッグセット内容(★はフラッグポール収納バッグ内)

内容	使用前数	使用後
① HMYCフラッグ（青、三角）		
② レース旗(予告信号、ピンク、三角)★		
② Ｐ旗（準備信号）★		
③ Ｘ旗（個別リコール）★		
④ 第一代表旗★		
⑤ ＡＰ旗(回答旗)★		
⑦ Ｓ旗（コース短縮）		
⑧ Ｉ旗（ゼネリコ後の準備信号）		
⑨ W旗（ウェザーマークあり）		
⑩ Ｌ旗（HMYCでは6分前も意味する）★		
⑪ Ｃ旗（コース変更）		
⑫ Ｎ旗（ノーレース）		
⑬ Ａ旗（Ｎ旗の下に掲揚。本日のレース終了）		
⑭ HMYC横幕（白、2枚、両舷に展開）		
⑮ 数字4、6（白地に黒文字）		
⑯ オレンジ旗、ブルー旗★		

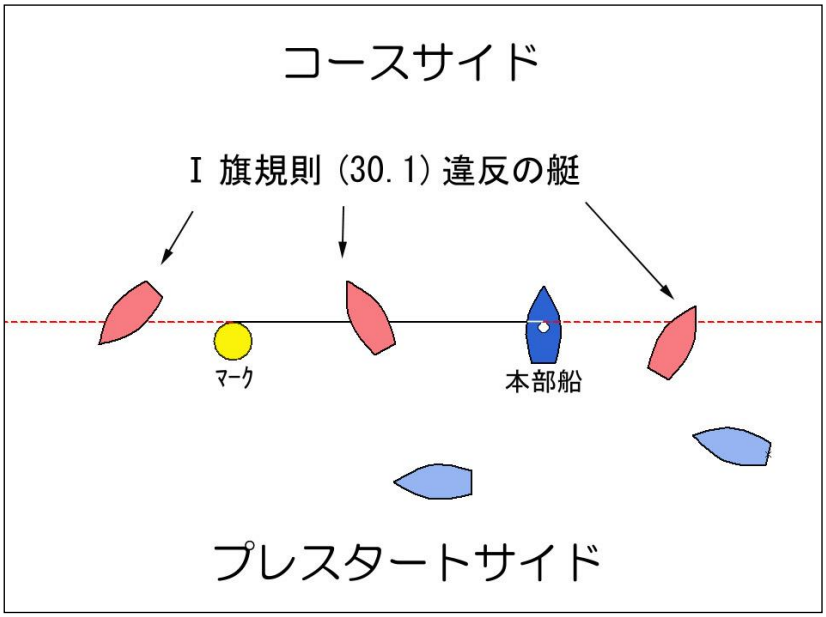
※補充が必要な備品

1)	使用日；　　年　　月　　日
2)	本部艇名；
3)	責任者；

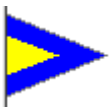
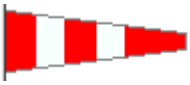
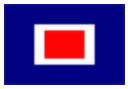
図１



20(6)1> I旗規則（一分間ルール）



HMYC　レース用フラッグ

HMYC旗 本部艇　出港前にセット	**Ｌ旗** 本部艇に集まれ スタート6分前に**降下** 音響１声	**予告信号** スタート5分前に**UP** 音響1声 スタート時に**降下** 音響１声
P旗 スタート4分前**UP** 音響１声 スタート１分前**降下** 長音１声	**Ｉ旗** ゼネリコ後のスタート4分前**UP** 音響１声 スタート１分前**降下** 長音１声	**X旗** リコール艇ありの時**UP** 音響１声 解消後又は４分後**降下** 音響信号不要
第一代表旗 ゼネラルリコール時**UP** 音響２声  ４分後（再スタート６分前） に**降下**　音響１声	**Ｓ旗** コース短縮指示 音響２声 	**ＡＰ旗（回答旗）** スタート延期 音響２声  スタート６分前に**降下** 音響１声
Ｙ旗 ライフジャケット着用指示 音響１声 	**W旗** ウェザーマークを使用する 音響信号不要 	**Ｃ旗** コース変更 反復音響
N旗 レースはを中止とする。 音響３声 緊急に使用する場合有（要準備） 	**ＮＡ旗** すべてのレースは中止する。本日は終了。音響３声 	**数字フラッグ４、６** ４または６のフラッグは次のレースのレグ数を示す